（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	きらめき大池

公表日　令和　8年　3　月　22　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	利用定員とスペースの空間を確保しています。	今後も継続します。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	職員が少ない日は見守りしやすい活動内容や学校迎えや自宅送り への送迎ルートを考えている。	適正人数を配置をしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	活動する部屋の数マットを交換しました。2つの部屋をマットを敷いている。	今後も継続します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	活動中は、日光や風を取り入れたり、日々の掃除終了は掃除や消毒などを行って清潔を保っている。	今後も継続します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		児童の特性に応じた活動を使用しています。	今後も継続します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	週1回の事業所会議を設定し、職員間で情報共有や、午後の話礼で情報共有を行っている。	今後も継続します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	年2回の親子交流会を設定して、交流を図っている。	今後、業務改善について親子交流会の中で、話し合う時間を設定する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		週1回の事業所会議を設定し、職員間で情報共有や、午後の話礼で情報共有を行っている。	今後も継続します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	今後、第三者評価を larry ように設定したい。 （未回答2）	法人内で、他部署の人が参加する工夫をする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	週1回の事業所会議で、研修動画を視聴している。	今後も継続します。
適切な支援の提供	11	通所に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		毎月活動プログラムを作成し、保護者様へ周知をしている。	今後も継続します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		計画相談員の資料や情報を基に「個別支援計画書」を作成している。	今後も継続します。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	個別支援計画を実施し、対象児童に良し悪しについて、職員から聞き取りをしている。	今後も継続します。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		必要に応じて週1回の事業所会議で共有しています。	今後も継続します。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	アセスメントを取り、対象児童を観察をしている。	いつもと同じアスメントシートを使用している。プラスしてな必要に応じてアセスメントをとっていく必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・関係機関」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		支援の領域を基に個別支援計画と設定している。	今後も継続します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	前月を参考にして担当者が作成している。	今後は、全員で立案をしたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	公園活動や運動活動等で、各児童の利用する曜日に重ならない事やは12月（クリスマス会等）を取り入れ楽しいプログラムを考え工夫している。	固定化しないように工夫する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		プリント活動や手指を動かす動作等と集団で活動する風船バレー等の動く活動を行っている。	今後も継続します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		話礼で行っている。	送迎場所や下校時間、活動する場所を職員間で情報共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		活動終了後、話礼で申し送りを行っている。	今後も継続します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		児童の活動を記録し、事業所会議で活用している。	毎日のリーダーが記録を残している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2	定期的にモニタリングを参加したり、状況に応じた支援に変更している。	変更が生じたら、職員へ情報共有を行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		確認して活用します。 （未回答1）	確認して活用します。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	プリント活動や手指を動かす動作等を個別活動で設定するが、児童が「しない」選択を尊重している。	児童の気持ちを尊重しています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達責任者や対象児童の担当職員が出席している。	児童発達管理責任者や対象児童の担当職員が出席 している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	相談員によって連携体制が出来ている子もいる。 （未回答1）	保健や医療との支援体制を今後、体制を整えていきたい。
	28	学校と合理的共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校へ下校時間の問い合わせしたり、保護者からの甲下校時間等の連絡がある。スクリレアプリを利用している。	今後も継続します。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	本事業所に利用予定の本就学児を受け入れる際に、児童発達支援事業所の情報共有はある。	受け入れる時に本就学児の情報共有を必要に応じて体制を取る。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	移行児童は現時点では無し。 （未回答1）	移行児童は現時点では無し。必要になった場合情報提供を行う予定です。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3	2	スーパーバイズは受けていない。 （未回答1）	スーパーバイズを受ける研修の機会があれば参加したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の色のこどもと活動する機会があるか。	6		本事業所では、「みらい児童館」「屋良児童館」の日があり活動している。	今後も継続します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	開催日程が合えば、参加したい。 （未回答1）	今後は参加出来るよう工夫したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		必要に応じて、保護者と連絡を取り合っている。	今後も継続します。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	研修の機会があれば参加をしたい。	まだ出来ていない。スタッフからトレーニングを行いたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		毎月の活動プログラムを周知している。	保護者からの質問等があれば回答する。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の権利を確認する機会を設けているか。	6		計画相談員のサービス等利用計画を基に「個別支援計画書」を作成している。	計画相談員や保護者とのモニタリングなど行う情報交換をして改善を行っている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている 。	6		利用計画開始時点で保護者から同意を得ている。	計画相談員や保護者からの変更があれば行う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者が児童の帰り送迎時に悩み等の相談があれば受けている。	必要に応じて「相談会」を開催を行う。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		年2回の「親子交流会」を実施して他の家族との交流会を設定している。	今後は、保護者の子供の兄弟姉妹間に対する相談を受けたり支援を行う。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		保護者からの苦情があれば対応をしている。	苦情があれば職員間で情報共有する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		活動内容を児童保護者に写真等を送信をしている。	児童の活動をHP等で お知らせをする。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報が入っている棚は鍵を掛けている。	業務終了後は、鍵を掛ける。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童で活動のスケジュールを古ワイトボード等に書いて知らせている。	言葉では無く、文字や絵カードで伝えている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	６月の夏祭りイベントでは地域の児童（児童館）を招待し交流を図っている。	事業所でイベントがあれば招待を行う
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	避難訓練を実施しており緊急が発生した時の児童の安全確保、職員との状況共有をしている。	火事や地震等の天災や、不審者対応等の緊急を想定して訓練を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	BCPから理解します。避難訓練は行っている。	BCPから理解します。避難訓練は行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		病院受診後、保護者からの服薬の依頼があれば行っている。	保護者か服薬や予防接種等の情報を聞き取るようにする。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	医者の指示があればそれに基づいて行う。	医者の指示があればそれに基づいて行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	感染症防止の動画視聴や安全運転をしがけている。	事前に危険な場所を調べる。多動児童にはつンターマンで対応する。
	51	こどもの安全確保に関して、事故等との遭遇が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、事故等へ周知しているか 。	5		児童の安全確保を行っている。 （未回答1）	安全に取り組みについて家族等へのお知らせを行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内 で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		危険予知トレーニング研修視聴したり、危険予知 する能力を高めている。	個にヒヤリハットが生じれば職員間で情報共有を行う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止の動画視聴している。	虐待が生じないように、「身体」等のストレスを減らすようにする。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束等を行う場合は保護者等へ事前に連絡を行うようにする。 （未回答1）	緊急的で重大な出来事が発生する時に行う。